さわやか高原集落法人連絡協議会 連携強化へ

管内の21の集落法人で構成するさわやか高原集落法人連絡協議会は6月26日、JA久井中央支店で総会を開き、17法人(委任状8法人を含む)が出席しました。

令和7年度事業報告・収支決算を承認したほか、令和8年度は地域内法人が連携し、安定的・持続的な集落法人経営の確立を目指して、農産物の生産販売に関する研修など6事業を柱とする事業計画と収支予算を決定しました。

総会後には、全農広島県本部営農資材部肥料農薬推進事業所所長の坂田健氏が「肥料農薬の情勢と水稲栽培の基礎知識について」と題して講演。肥料農薬の情勢と米の品質向上及び収量増加に向けた効果的な取り組みについて説明しました。


▲総会の様子

タマネギプロジェクト 学校給食へ出荷

久井町農業集団組織連絡協議会は、7月の学校給食で使用されるタマネギを収穫し、6月25日にJA羽倉倉庫へ集荷しました。生産者らが選別・仕分け作業を行い、市内の学校給食調理場へ納品します。同協議会は、耕作放棄地対策、地産地消の推進、学校給食への供給を目的に「タマネギプロジェクト」に取り組んでおり、今年で2年目。新たな参加者を加えて作付面積を拡大し、今年は約2,300kgを収穫しました。前年を上回る収穫量で、品質も良好でした。

同協議会の中川栄二会長は「今年は品質も良く、収穫量も多かった。今後も作付面積を広げ、農業集団として引き続き取り組みを進め、供給量を増やしていきたい」と話しました。


▲集荷・仕分け作業をする作業員たち

ハウスレモン初出荷 香り高く人気集める

JAせとだ選果場で6月22日、ハウスレモンの出荷が始まりました。尾道市瀬戸田町の6戸が1・2haで栽培し、この日は生産者が持ち込んだレモンを手作業で選別。大きさや傷の有無などを確認しながら箱詰めして関東市場や広島市場などに向けて出荷しました。ハウス内の温度を調整しながら加温栽培することで開花時期を早め、露地栽培より4カ月早い6月から収穫します。鮮やかな緑色の果皮と香り高い風味が特徴で、夏場の需要期に新鮮なレモンが楽しめると人気を集めています。出荷は9月末まで続く予定です。


▲選果する作業員

モモの生育を確認 深町で園地巡回

三原市深町で6月18日、モモの園地巡回を行いました。生産者の為清隆美さんとJA広島果実連の高本大輔技師、同地区のJA営農担当者が園地を回り、「さくひめ」「あかつき」「なつおとめ」の生育状況や病害虫の発生状況などを確認しました。

今年の生育は順調で、果実の着色や肥大も良好に進んでいます。巡回では収穫までの管理方法について情報を共有し、品質向上に向けた対策を確認しました。

深町地区では、早生品種の「さくひめ」から6月末ごろに出荷が始まり、その後、「あかつき」「なつおとめ」と続き、シーズンを通して約2tの出荷を計画しています。


▲生育状況を確認する生産者の為清隆美さん

なるほど え～のう！営農情報

水稲

収穫に向けて仕上げの時期になりました。良質な米を生産するには、収穫までの水管理と適期収穫が重要になります。

【収穫前まで水管理】

早期の落水に注意しましょう。落水時期は出穂後30日頃が目安ですが、水持ちの悪い水田（砂地など）では、収穫作業に支障がない程度まで遅らせましょう。落水時期が早いと玄米肥大が悪く、収量・品質が低下してしまいます。

また、台風などで乾燥した強い風が吹く場合は、急激な水分消耗を防ぐため、湛水状態にしましょう。

【収穫適期】

収穫適期は品種や圃場条件などによって異なります。出穂後の積算気温（日平均気温の積算値）で予測しながら、最終的には実際に籾の色を見て判断しましょう。黄化した籾が90％程度の頃が収穫適期です。

葉色は、品種や出穂時期によって異なります。特に「恋の予感」は収穫適期になっても長い止葉に青みが残るため、収穫が遅れないように注意しましょう。

収穫が早いと青未熟粒が多くなり、収量・品質が低下します。また、籾の水分が多いため、乾燥時間や経費が増します。

収穫が遅いと胴割米や茶米が多くなり品質が低下します。特に「あきさかり」は胴割米の発生が多くなりやすいので注意しましょう。

【積算気温の目安】

早生品種	950～1,000℃
中生品種	1,000～1,050℃

【籾の色のイメージ】



黄色の籾が90％程度

【水稲生産履歴提出のお願い】

JAへの米の出荷・乾燥施設利用時には、水稲生産履歴の提出が必要です。「稲作ごよみ（p.39～）」に付けてありますので、各窓口への提出をよろしくお願いいたします。

柑橘

今月は年間で最も気温が高く、降水量も少なくなりやすい時期となります。暑い中での作業となりますが、先月に引続き摘果作業を進めてください。中晩柑類は基準よりも多く着果している場合は再度摘果を行い、適正葉果比に仕上げましょう。温州みかんは着果量が多い樹から優先して内なり果、裾なり果を中心に荒もぎ摘果を行ってください。

表１：温州みかん時期別果実肥大基準（Ｓ級になる大きさ）

単位：mm

品種＼時期	7/30	8/10	8/20	8/30
極早生	38	42	45	47
早　生	30	34	38	42
いしじ	33	36	39	42

表２：中晩柑時期別肥大基準

単位：mm

品　種	葉果比	収穫時の階級	7/30	8/10	8/20	8/30
ネーブル	80～100	L	40	45	50	55
八　朔	80～100	L	48	54	60	65
伊予柑	80～100	L	46	51	56	61
甘　夏	80～100	L	50	57	64	69
しらぬひ	100	2L	48	53	57	61
はるみ	80	L	36	41	45	49
はれひめ	70～80	L	33	38	43	48
はるか	70～90	L		41	46	51
南津海	30	M			31	36
レモン	30	年内M	34	36	38	40

落葉果樹

今月は高温乾燥で推移する傾向にあります。雨が少ない場合は高温乾燥対策を徹底します。また、引き続き暑い中での農作業のため体調管理には十分注意し、こまめに水分補給し熱中症にならないように注意しましょう。

農作業の際の熱中症対策

○日中の気温の高い時間帯をさけて作業を行う。また、単独作業は避け複数名で作業し、時間を決めて声かけを行う。

○こまめな水分補給、休憩を心掛ける。

○空調服など熱中症予防グッズを活用する。

土壌水分管理

○地表面からの蒸散を防ぐため、敷ワラ（敷き草）や堆肥の施用を行う。

○草生園では、水分競合や蒸散による水分消費をできるだけ少なくするため園内の雑草は刈り取り、敷き草とする。

○かん水施設のある園地は、かん水を早朝か夕方の気温の低い時間帯に行う。傾斜地などの園地では、一度に大量のかん水を行うと表面流去が多く、効果が劣るため1回あたりのかん水量は少なくして間隔を短くする。水量が十分でない場合は根の多い部分に灌注器など

を利用して集中的に局部かん水を行う。

収穫・選別作業について

●収穫

モモは品種によって先月から収穫が開始されていますが、今月からブドウやイチジクの収穫が開始されます。収穫は、品目や品種ごとの着色や糖度など品質状況を確認し開始します。ただし、近年の異常高温により果実内容が仕上がっているにもかかわらず、着色が鈍いため過熟になる場合もあるので注意が必要です。色だけではなく、食味等をチェックしながら収穫を進めましょう。そして、収穫後の棚持ちや品質を維持するため、果実温の低い早朝に収穫することが望ましいです。

●選別

選別作業は、収穫した後に腐敗につながるような傷、病害虫被害の程度や果実の熟度等を確認し商品性の高い果実に揃えます。選別作業をする際も、果実温度が上がりにくい涼しいところで選別します。

収穫や選別の際は、果実を傷つけないように丁寧に扱います。

枝管理（枝抜き、副梢の管理）、摘果

引き続き発生状況を確認しながら、込み合っているところの枝の間引きや、副梢の管理（摘心や除去）を行います。また、カキは引き続き商品にならない変形果や病害虫被害果等を摘果します。

注意する主な病害虫

果樹全般…ハダニ類





イチジクとモモのハダニによる被害葉。ハダニの吸収により葉緑素がぬけ、黄白色になる。被害がひどい場合は落葉する。

カキ…炭疽病、うどんこ病、カキノヘタムシガ　カメムシ類　等

※農薬散布する際は、必ずラベルを確認し記載されている登録内容を確認して行ってください。また、農薬散布の際は農薬飛散（ドリフト）に注意しながら実施します。

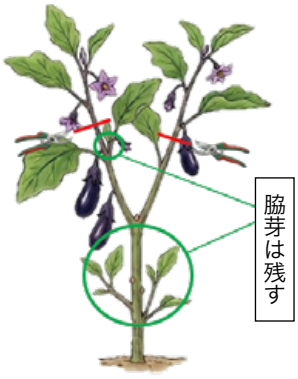
家庭菜園

近年はお盆を過ぎても猛暑が続いています。体調には十分気を付けてお過ごしください。

さて、先月は夏野菜の追肥のタイミングについてご紹介しました。夏野菜の収穫を長く楽しむためには追肥とともに「剪定」も重要な作業です。「剪定」は、不要な枝や葉、茎などを切り落とすことで病害の発生を抑えたり、エネルギー効率を高めることで長くたくさん収穫できるようにする作業です。夏野菜の代表として、「ナス」「ピーマン」「トマト」の剪定についてご紹介します。

ナス

秋に行うナスの剪定方法は更新剪定です。脇芽を残しつつ枝を3分の1ほどの長さで切り戻します。切り戻しは秋ナスを収穫するための作業ですが、ナスにとってはダメージがあります。そのため、剪定後は追肥や潅水を十分に行いましょう。



ピーマン

ピーマンの剪定では、風通しと日当たりの確保に重点を置いて行います。葉が繁茂していると風通しが悪くなり病害虫の発生を助長するほか、葉が重なり合いお互いに光合成を邪魔してしまいます。そのため、脇芽や過繁茂となっている葉を間引くようにしましょう。目安としては上から見たときに地面が薄っすら見える程度に行いましょう。また、実がつきすぎると一つずつの実が小さくなってしまうので大きくする実以外は摘果しましょう。10～15個の実がついているのが理想です。また、ピーマンは折れやすいため支柱などで折れないように誘引を行ってください。



トマト

トマトの場合、実に栄養を集中させるため脇芽かきを行います。また、収穫を終えた花房より下の葉は摘葉しましょう。さらに、開花してから果実を収穫できるようになるまでに約一か月を要することから収穫を終了する段数を決め摘心を行いましょう。大玉トマトの場合は、5～7段程度で行うようにしましょう。



Information お知らせ

みて ふれて 展示・販売会

JAせとだアグリセンターで6月12、13日、展示販売会を開きました！農業用資材や柑橘加工品などを特別価格で販売し、多くの地域組合員にご来場いただきました♪




もっと！みはらニュース！

6/15 久井町三橋谷ビオトープで絶滅危惧種「ヒョウモンモドキ」の観察会



ヒョウモンモドキの保護活動に取り組むくい環境会議は、久井小学校３年生の児童らを対象に観察会を行いました。かつては本州各地に生息していたチョウでしたが、湿地環境の減少などにより個体数が激減。現在は三原市や世羅町の一部に生息地が残るのみとなっています。JAでは支店協同活動の一環として、生息環境の保全や次世代への環境教育を支援しています。



かがやき通信 女性部活動

6/23 本郷支部開講式

JAくらしの宅配便で販売されている築野食品工業株式会社の「こめ油」を使用した調理実習を開催しました♪同社、調理師の佐々木加奈さんを講師に5品を作り、こめ油の扱いやすさや料理のおいしさを実感し、家庭でも取り入れやすい魅力と実用性への理解を深めました!





特売・七夕フェア

JA三原アグリセンターは7月3、4日に特売セールと七夕フェアを開きました!肥料、農薬を特別価格で販売し、産直市では新鮮野菜を求め多くの方にご来場いただきました♪



9月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】
三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】
8：30～17：00

【年金相談会　開催時間】
10：00～16：00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
				三原西	三原					年金相談会	三原西	三原						三原西	三原	三原	三原	本郷			三原西	三原			※棚卸
					本郷					せとだ支店		本郷							三原西	本郷	三原西					本郷			
					久井							久井							本郷	鷺浦	鷺浦					久井			
					鷺浦							鷺浦							久井	せとだ	せとだ					鷺浦			
					せとだ							せとだ							鷺浦	竹原	竹原					せとだ			
					竹原							竹原							せとだ							竹原			
																			竹原										

※棚卸業務実施のため店舗を閉店します。ご了承ください。